

# 平成26年度に建設工事で発生した事故事例（墜落・転落による事故）

## 事故概要：

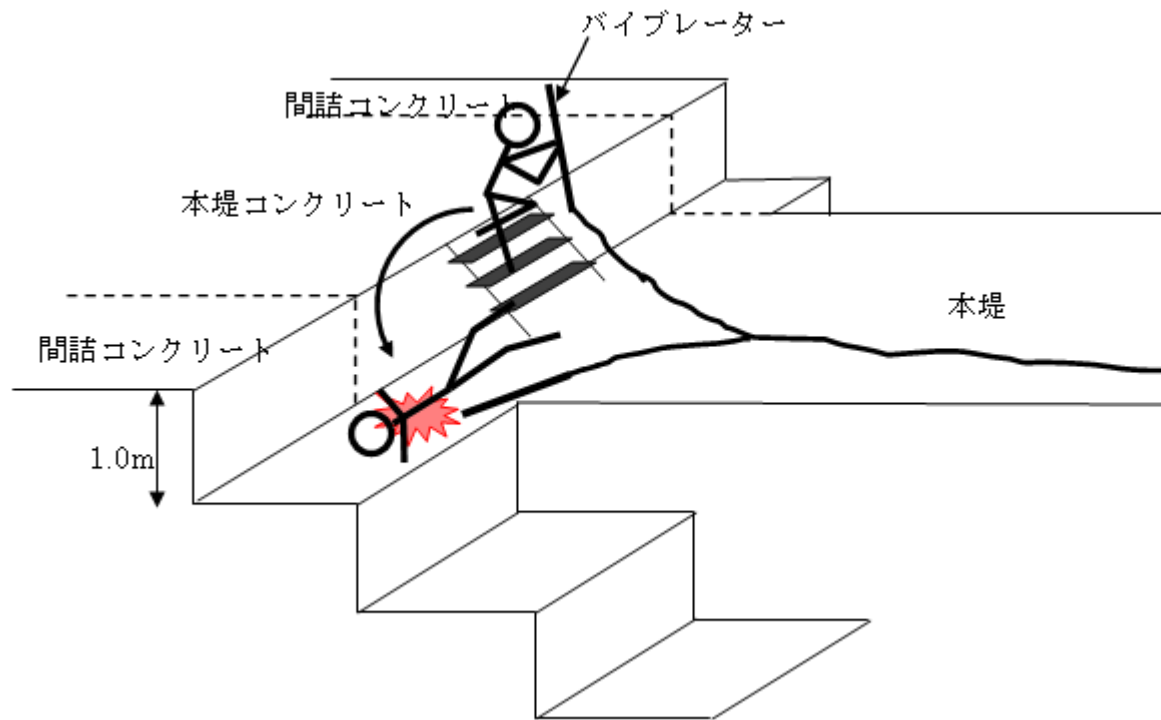
コンクリート打設中、バイブレーターかけ及びコンクリート均し作業を行っていた作業員が昇降階段による移動時（下降時）にバランスを崩し、一段下（1m下）の間詰コンクリート上に転落し、負傷した

## 事故原因：

・安全意識不足

## 改善対策：

・安全教育の徹底



分類：コンクリート打設、移動

被害状況：5か月の加療（第12胸椎圧迫骨折）

# 平成30年度に建設工事で発生した事故事例（転落による事故）

## 【事故概要】

副堤工のコンクリート打設において、バイブレータで締固め作業を行っていた作業員が、移動中にバランスを崩し作業床から左足を踏み外して、約40cm下の打設中のコンクリートに足をついた。

コンクリートは硬化前であったため足が沈み、作業床を固定していた単管の支柱の先端に口元をぶつけ負傷した。

## 【事故原因】

- ・作業床の幅が25cmと狭かったため、バランスを崩した
- ・単管が作業床から突出しており先端にキャップが取り付けられていなかった

## 【改善対策】

- ・作業床の幅を40cm以上確保する
- ・作業床から突出した単管は作業床の高さで切断し、先端にキャップを取り付ける
- ・作業床は確実に固定する

